

平成29年度 村田高等学校「学校評価アンケート」結果について

1 回収率	生徒	<u>95.0%</u>	昨95.0%(±0%)
	保護者	<u>62.0%</u>	昨65.9%(▲3.9%)

2 自由記述欄からの指摘

(1) 保護者より

○学習指導について

- ・授業態度の悪い生徒をもっと強く指導してほしい… 3
- ・自習が多く授業の遅れが心配なときがあった… 1
- ・特定教科の授業が分からない… 1
- ・せめて週末課題や宿題があるとよい… 1
- ・進路の決まった生徒が授業への集中力が落ちている… 1

○生徒指導関係

- ・頭髪服装，登下校時のマナーなど風紀の乱れ… 3
- ・村高祭をもっと盛り上げられないか？… 1
- ・制服の見直し（男子はネクタイを自分で結び，女子はゴム止め）… 1

○部活動関係

- ・部活動の大会時，学校側でバス等を準備してもらえないか？… 1
- ・運動部の人数が減って今後の活動が心配… 1

○保健厚生関係

- ・保健室での対応を丁寧にしてほしい… 1

○進路指導関係

- ・もう少し進路指導を適切に対応してほしい… 1

○防災関係

- ・メール登録しているのに臨時休業のメールが届かなかった… 1

○施設設備面

- ・保護者用の駐車場を確保してほしい… 1
- ・校舎内の汚れが目立つ… 1
- ・トイレが汚い… 1

○その他

- ・1年次生の体調不良を心配する声… 4

(2) 生徒より

○学習指導について

- ・一部生徒の授業態度が悪いのもっと強く指導してほしい… 3
- ・板書の字が小さい，見づらい… 2
- ・教室内でのスマホ使用規制を考えてみたら？… 1

○生徒指導関係

- ・挨拶が少なく，服装や頭髪のマナーが悪い… 1
- ・一部生徒の，先生に対する言葉遣いが悪く，聞いていてとても不愉快… 1

○施設設備面

- ・トイレが汚い、古い、くさい… 1

○その他

- ・悩みがあっても耳を傾けない先生が多いので、相談したくても相談できなく、相談する気が失せる… 1
- ・これからの受動車はE V車が多くなり、エンジン関連の仕事がなくなるのではないかと心配… 1
- ・選択授業等の確認をしっかりとできる人を増やしてほしい… 1

(3) 教職員関係

- ・生徒指導の問題における情報共有のタイミングがもう少し早いとよい。
- ・ICT機器がもっと気軽に使えるようになってほしい。

3 評価結果について

(1) 肯定的評価指数 80ポイント以上の項目

保護者	7 / 13 項目 ↑	5 / 13 項目 (H28)
生徒	3 / 13 項目 ↑	0 / 13 項目 (H28)
教職員	7 / 10 項目	7 / 10 項目 (H28)

(2) 保護者提出分

回収率が、昨年度より 3.9%下がっている。

アンケートの実施が、2年次の修学旅行と重なったことも原因ではあるが、アンケート用紙の回収方法についても検討したい。

(1) 肯定的評価（そう思う・大体そう思うと回答）が高いもの、伸びたもの

進路目標の明確化に向けた適切な指導	昨年度→今年度：78%→84%
学校としての、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりへの取組	〃 : 77%→80%
<p>その他で肯定的評価が8割を超えた項目：学ぶ意欲を引き出す授業（80%）、教育相談（82%）、有意義な学校行事（82%）、施設設備の整備（82%）、学校生活の充実（83%）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する項目では初めて肯定的評価が80%を越えたが、「進路に関する連絡や情報提供の細やかさ」では同63%と低くなっている。 ・地域連携ばかりでなく、「授業公開・開放講座・体験入学の実施」など、「開かれた学校づくり」については肯定的評価が高い。 ・「教育相談」については、昨年度から評価が高まり、今年度も肯定的評価が8割を越えている。 ・「施設設備の整備」以外でも、「親切丁寧な応対」「各種証明書等のスムーズな発行」での肯定的評価が90%以上と、事務部に対する評価は非常に高い。 	

(2) 否定的評価（あまりそう思わない・そう思わないと回答）が高いもの、増えたもの

生徒に対する基本的な生活習慣の確立に関する指導	昨年度→今年度：25%→31%
いじめの問題に対する取組方針の保護者との共有	昨年度→今年度：40%→47%
<p>・特に「いじめ問題」に関しては、否定的評価が半数近くを占めている。ただ、本校に限らず、この項目に対する評価は一般的に高くない傾向がある。保護者に対してというより、生徒に対して「学校としてこうしている」ということを具体的に示す必要があると考える。</p>	

(3) 生徒提出分

回収率は、昨年度同様95%である。また、肯定的評価が80%を越えている項目が昨年度はなかったが、今年度は3項目に増加している。しかし、自由記述欄への記入が減っているため、調査の意義・目的を生徒に改めて伝えて積極的に取り組ませたい。

(1) 肯定的評価（そう思う・大体そう思うと回答）が高いもの、伸びたもの

学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業	昨年度→今年度：54%→67%
進路目標の明確化に向けた適切な指導	昨年度→今年度：70%→81%
災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	昨年度→今年度：75%→85%
保護者に対して学校の情報は適切に伝えられている	昨年度→今年度：75%→81%
<p>・学習指導についての評価が高まったものの、80%以上を最も目指したい項目である。</p> <p>・進路に関する項目は、保護者の評価同様、肯定的評価が80%を越え、「進路情報の提供」についても同77%である。生徒に提供した情報が、保護者にまで伝わっていない恐れがある。</p> <p>・防災教育については、肯定的評価が10%増加している。Jアラート発令時の対応など、避難訓練時ばかりでなく、年次や担任からの日常的な指導が功を奏していると思われる。</p> <p>・「教務通信」やクラスだよりなど、目に見える形での情報提供が評価を高めていると考えられる。</p>	

(2) 否定的評価（あまりそう思わない・そう思わないと回答）が高いもの、

増えたもの

いじめの早期発見に対する取組	昨年度→今年度：41%→41%
・「いじめ問題」に関しては、否定的評価が4割を占めている。 保護者の評価でも述べたとおり、生徒に対して「学校としてこうしている」という具体的な姿勢を示す必要がある。	

(4) 教職員提出分

ここでは、肯定的評価が減じた項目及び60%を切っている項目を取り上げて本校の課題を示すこととした。

基本的な生活習慣を確立させる指導	昨年度→今年度：64%→47%
・ここ3年間、64%だった肯定的評価が17%減じた。生徒の実態以上に、そうした意識を抱いている教職員が多いことを重要視しなければならない。まず「生徒指導に関する情報の共有」を速やかに行いながら、指導に対する「意識の共有」を図る必要がある。	

・「シラバスの活用」についての肯定的評価が最も低く、53%である。冊子にまとめるやり方を見直し、プリントで生徒に記入させ回収する方法など、生徒との双方向のやりとりがあってもいいのではないか。 ・「生活指導」についても、肯定的評価が59%と、わずかではあるが、6割を切っている。上記で示したように、速やかな「情報の共有」から「意識の共有」へとつなげていきたい。	
--	--